no.390
10
2026.10.1

発行：みなと元町タウン協議会　住所：〒650-0022 神戸市中央区元町通 3-13-1 協和会館内
発行人：片山泰造　編集人：平松日出雄　電話・FAX:078-391-0831　表紙写真：中多英二

季刊 みなと元町タウンニュース TOWN NEWS

おっ！散歩
- 街角川柳とエッセイ -

あの事も
このことも知る
石のビル

詠人　喜康

スヌーピーは、、、
1900(明治 33) 年に建てられた旧三菱銀行神戸支店 (曽禰達蔵・設計) は、1977(昭和 52) 年に子ども服メーカーのファミリアが取得し、その後、ファミリアホールとしてイベントやコンサート、展示会などに一般の人にも解放されていました。
私も数年前に、講演を頼まれてホールに招いて頂いたことがありました。
この建物は、2016 年に解体され、跡地にタワーマンションが建設されましたが、かつての重厚な石造りの壁面の一部は復元・保存されています。ちょうど、地下鉄海岸線みなと元町駅と同様、歴史的景観を後世に継承するために、新たな現代的建物 (マンション) の低層部に残されています。
ハーバーランドに向かう時には、南北の道路沿いに、ポツリと座っていた御影石のスヌーピーくんの頭を、そっと撫でていました。
けれど、スヌーピーくんは、いつの間にか、いなくなっていました。
旧ファミリアホールのエントランスは、強烈な白と黒の市松模様の床でした。モダンでステキで、私の記憶の中には、くっきりとその残像が刻まれています。
元町商店街を西へ抜けたあたり、たとえ、あの建物の外壁だけ、ではあっても、＂わたしだけ＂の密やかな楽しみのひきだしは、静かに開いて、スヌーピーくんも、現れて来てくれます、、。

潮﨑孝代

「コベカツ」がスタート！ 元町が中学生に提供できる課外活動の可能性

合資会社ゼンクリエイト　根津昌彦

約 2 年前から準備が進められていた、少子化対応や教員の働き方改革の一環として文科省が推進する「部活動の地域移行（＝中学校の部活動を地域のスポーツクラブや活動団体などが担う)」が、9 月 1 日より、政令指定都市では全国で初めて、神戸市で平日休日ともに移行され、『コベカツ』がスタートしました。私は兵庫県合唱連盟で役員を務めている関係上、神戸市の中学校合唱部がなくなり地域の指導者による活動が展開されるコベカツの動きについては、経過を含めて強い関心をもって見てきました。今年は縁あって、朝日新聞社共催の全日本合唱コンクールの予選に位置付けられている兵庫県合唱コンクール中学生の部の審査員を 8 月 22 日に、大阪府合唱コンクールの審査員を 8 月 30 日に努めることとなり、両府県で約 30 団体の中学生の演奏を聴かせていただきました。

今年までは、校内活動の一環としての部活動という位置づけであるため、合唱部の場合、おそらく多くの学校が週 3 ～ 4 日、放課後の 2 時間ほどを練習に費やし、顧問や指導の教員が会議や出張で不在であっても、生徒だけでの自主的な練習も行いながら音楽づくりに取り組んできたことでしょう。夏休みなどはほぼ毎日のように学校に登校し、集中力を高めて自分たちの持てる力すべてが発揮できるようにと練習を積み重ねて、コンクール本番に臨んだであろうと、どの団体の演奏を聴いても察することができました。

兵庫県コンクールに目を向けたとき、2026 年の中学生の部への参加団体数は 14 でしたが、10 年前の 2016 年は 20 団体の参加がありました。実に 3 割も参加団体数が減っていることになります。手元ですぐに確認できないのですが、参加した生徒数を比較するとおそらく団体数以上に大幅な参加人数減となっているものと思われます。指導者のなり手不足、少子化の影響が顕著に表れた結果だと言ってもいいでしょう。

このような状況を打開する可能性のある「部活動の地域移行」であれば、大変歓迎すべき動きではありますが、大会やコンクールに臨むということを通じて、自身のスキルを高めたり仲間意識を向上させたりすることのできる部活の良さが、地域が受け持つという仕組みの中でどこまで「これまでの良い部分」を残していけるか、課題も多いように感じます。

報道によれば、2026 年 8 月までに神戸市が認定した「コベカツクラブ」は、2026 年 5 月時点の中学校の部活動の数より 4 つ多い 1051 となっていて、特に文化系は 381 クラブと 1.4 倍余りに増えたそうです。神戸市教育委員会の福本靖教育長は、ニュースの中で「まだいろいろな課題はあるものの、子どもたちが本当にやりたいことに一生懸命取り組み、放課後に人生の糧になるような時間にしてほしい」と話されていましたが、その思いは私も同感です。子どもたちが本当にやりたいことを探す機会として、部活動の地域移行はいろいろな可能性を秘めていると思います。

元町エリアに目を向けたとき、私が確認できたところでは、「フラダンス」「地理・歴史」の種目として 2 つのコベカツクラブが登録されていました。個人事業や法人が営利のために中学生を参加させることはできませんが、非営利の地域や社会への貢献活動は「コベカツ」になりうることを考えると、元町商店街が年中行事として行っているイベントの企画運営活動やタウン協が行っているまちづくり活動などは、実はコベカツのフィールドとしては非常に有効なものではないかと最近考えるようになりました。

コベカツでは、各クラブが必要経費を踏まえて会費を設定することができたり、活動に参加する生徒やスタッフに対して保険加入を義務付けていることからもわかるように、当然ながら生徒の受入団体には、大人としての責任が伴います。しかしながら、学内活動では経験できなかったことを地域が提供し、未来ある子どもたちに自ら考えたことを実践させ、小さな挫折や小さな成功体験を得てもらえれば、元町への愛着を持つ市民を増やしていくことにもつながるのではないかと思います。思い付きではできない取り組みではありますが、覚悟さえできれば、私たちがこれまで取り組んできたことの延長線を、神戸の中学生とともに描いていくことができる、夢のある話だとは思いませんか。



神戸市「コベカツ」ホームページのトップ画面より転載



コベカツ紹介動画より転載



コベカツクラブ活動紹介例（神戸市「コベカツ」ホームページより転載）

元町みなと通信 file.12

『みんなでクリーン作戦！ in こうべ元町 相生橋』開催します！

合資会社ゼンクリエイト　藤本はな

10 月 18 日（日）10 時～ 12 時頃、JR 神戸駅から元町商店街までのエリアにて、クリーン作戦のイベントを開催いたします！

軍手とごみ袋を配布し、まちの皆でごみ拾いを実施。蒸気機関車 D51 の柵の中に入り、車体みがきもできます！ごみ拾いが終わったら、かもめんと記念撮影をして解散。住むまち、働くまちを自分たちできれいにしましょう！また、ごみ拾い中にキーワードを 2 つ集めたお子様には素敵なプレゼントをお渡ししますので、お楽しみに！

もとまちハーバー懇談会では、本誌 4 ページ掲載の通り月 1 回のクリーン作戦を実施しており、今回はそれをより気軽に、周辺にお住まいの方やお子様も参加しやすく、地域に愛着をもってもらえるようなイベントとして企画しました。

申込不要、参加無料、手ぶら OK です！ご参加の方は、汚れてもいい服装で直接集合場所（蒸気機関車 D51 後方サークルベンチ：神戸市中央区相生町 1 丁目 3）へお越しください。



まちかどケンチクばなし vol.9
公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部
兵庫地域会　地域まちづくり委員会

1980年代の名作―神戸松蔭・六甲キャンパス

＊写真提供：神戸松蔭大学

米原 慶子　Ks Architects・夙川アトリエ 主宰 / 一級建築士 / 元・神戸松蔭女子学院大学人間科学部 准教授

阪急六甲駅から坂道を上り、神戸港を見晴らす高台の一角に、明るいレンガタイル壁に統一され、エレガントな空気をまとう大学キャンパスがあります。長年私が職場として過ごし、リスペクトしてきた神戸松蔭の建築空間をご紹介したいと思います。

急な斜面に沿って分棟配置された校舎は、小さな切妻屋根に分節されてリズミカルに連なり、所々ブリッジで繋げられています。正門前の広場にはチャペルの鐘楼がシンボリックに聳えて、レンガ壁の色や緑青銅板の屋根と相まって、中世イタリアの街並みを想わせる、独特の佇まいとなっています。

緩やかにカーブした街路を歩くように、棟と棟の間隔が角度を持って狭まったり広がったりしながら奥深く続き、切り取られた風景が次々と変化していきます。流れとよどみの空間が生み出され、四季の緑や花とともに、ヒューマンスケールの心地よい外部空間が形成されています。

全体はクラシカルでありながら、屋根と外壁のミニマムでシャープな納まりや、各所に散りばめられたアイアンワーク一門扉、手すり、十字架型や楕円形の窓、サイン等の繊細なディテールにより、洗練されたモダニズムの美を感じられます。

様々な魅力ある内部空間の中でも、とりわけチャペルは秀逸です。白い内壁に高窓の帯状のステンドグラスから差し込む光の彩り、そこに描かれた聖書の物語、パイプオルガンの音、聖歌隊の声など、五感に響く神聖な空間が作り出されています。祭壇は石や金属によるモダンで繊細な設えで、内壁には塗装した割れ肌のコンクリートブロックという意外な素材を用いて光と音響の効果を高め、ストイックでありながら豊かな表情を醸し出しています。

1981年に竣工したこのキャンパスの設計は、永田祐三氏を主任建築家とする竹中工務店の設計チームによるもので、順次増改築を重ねながら大切に維持管理され、多くの学生や教職員が集い、共に学ぶ場として愛され続けています。

1980年代当時、ポストモダニズムの思潮が広まる中、建築家たちは世界中の様々な街を旅してヴァナキュラーな街並みや歴史的モチーフの魅力を自身の作品に投影していきました。当時建築を学ぶ学生だった私自身も、このキャンパスのイメージと重なるイタリアの中世都市、シエナやカルカータなどを巡り、特徴的な空間構成に強く惹かれましたので、永田氏もきっとこれらの街を訪れ、イメージソースの一つとされたのではと想像します。当時の掲載誌を読むとそういうことに関して言及はないですが、興味の尽きない設計プロセスを知ることができました。

建設前、神戸市の埋立用土砂採取場だったこの敷地は、緑の全くない岩盤が露出した切り刻まれた急峻な荒地で、キャンパスを作るにはかなり厳しい場所だったようです。永田氏らはこの困難な敷地と対峙し、松蔭のキリスト教精神に基づく教育理念や諸条件を深く読み解き、何枚ものイメージスケッチ、エスキースを描きながら配置計画をくみたて、敷地内の風景の変化もシミュレーションを繰り返しながら決定したようです。そして超一流のチーム力を結集して各所の細部まで丁寧にデザインし、この建築にまとめ上げられたのだと思います。

その磨き上げられた美意識とデザイン力により、中世イタリアの街のイメージは昇華され、タイムレスで無駄のない美しさと魅力を備えた、豊かなキャンパス空間に結実しました。そしてポストモダニズムの域を超えて、輝き続けていると思います。


キャンパス全景


チャペル内部



トーベとムーミン展 ～とっておきのものを探しに～

会　場
神戸市立博物館

会　期
2026年10月10日(土)～12月13日(日)

開館時間
9:30～17:30(金と土は20時まで開館)
＊入館は閉館30分前まで

休館日
月曜日 (ただし、10月12日(月・祝)、11月23日(月・祝)は開館)、10月13日(火)、11月24日(火)]

トーベ・ヤンソン「ムーミンたちとの自画像」1952年 インク、紙
ムーミンキャラクターズコレクション © Moomin Characters™



アンドリュー・ワイエス展

会　場
あべのハルカス美術館

会　期
2026年10月3日(土)～12月6日(日)
※会期中、一部展示替えがあります
前期：10月3日(土)－11月3日(火・祝)
後期：11月4日(水)－12月6日(日)

開館時間
火～金10:00～20:00 月土日祝10:00～18:00
＊入館は閉場の30分前まで

休館日
10月5日(月)

《ゼラニウム》1960年 ドライブラッシュ・水彩、紙 ファーンズワース美術館、ロックランド
Collection of the Farnsworth Art Museum, Rockland, Maine,
Bequest of Betsy James Wyeth Trust,2021.1.1
©2026 Wyeth Foundation for American Art / ARS, New York / JASPAR, Tokyo

読者プレゼント

観覧ご希望の方は、住所・氏名・年齢・本紙への一言を添え、本紙編集部までハガキでお申し込みください。先着順でペア招待券をお送りします！

会員紹介

みなと元町タウン協議会にご参加いただいている企業会員の皆さんをご紹介いたします。ぜひ、神戸のまちを歩く際には探してみてくださいね。

※掲載は順不同となります

佐田野不動産（株）



佐田野不動産では、神戸・元町・三宮地区の物件を中心に取り扱っております。売買・賃貸等不動産のことでしたらどんなことでもお気軽にご相談ください。

TEL 078-371-0007（平日 10:00 ～ 18:00 土・日・祝日休み）
HP　https://satanorealestate.com

京阪神ビルディング株式会社



当社は、1948 年の創立以来、データセンタービルやオフィスビル、ウインズビルなど関西、首都圏を中心に多彩な施設の賃貸事業を展開しており、近年は海外投資にも積極的に取り組んでいます。

HP：https://www.keihanshin.co.jp

クリーン作戦

栄町通クリーン作戦

毎月第２金曜日午前 10 時、栄町通６丁目佐田野不動産前集合の上、実施しています。お気軽にご参加ください。







左上　７月 10 日
右上　８月 21 日
左下　９月 11 日

参加企業

神戸市　佐野運輸㈱　新光明飾㈱
㈱神明　㈱神明ホールディングス
神明倉庫㈱　兵庫県信用組合
広島銀行　佐田野不動産㈱
けんしんサービス㈱



ハーバーロードクリーン作戦



エスタシオン・デ・神戸
７月８日 10 名



８月 12 日４名



９月 17 日９名



ネッツトヨタ兵庫㈱
８月５日８名
９月２日 15 名きらら広場工事中の為、集合写真無

お詫びと訂正

みなと元町タウンニュース vol.389「まちかどケンチクばなし」にて誤りがございました。
お詫びして、訂正いたします。
「誤」→「正」
「都倉泰言」→「都倉泰信」「静さを」→「静謐さを」「追えて」→「湛えて」「金室」→「金庫」「税密」→「秘密」

元町みなと通信 file.13

神戸 D51 前の広場化を体験してみよう！

神戸市建設局駅前魅力創造課

JR 神戸駅の高架沿いに佇む蒸気機関車「D51（デゴイチ）」。駅周辺も、より歩きやすく居心地の良い空間になるように、D51 前の道路を広場化する社会実験を行います。2024 年度の社会実験では、芝生の上でごろんとできる空間づくりやイベントを実施し、多くの皆様から「居心地が良い」「子どもと安心して歩ける」と好評をいただきました。皆様と一緒に、「にぎわいとくつろぎ」の空間づくりを進めていきたいと考えています！



2024 年社会実験当日の様子



【10/11（日）KOBE D51 芝生 de ピクニック】開催時間：13:00 ～ 18:00
大人も子どもも楽しめる 1 日限りの芝生広場が出現！今年で 12 年目を迎える「宇治川音楽祭」と同時開催。
個性豊かなクラフトビールや、県産の食材を使ったおいしい料理を味わいながら、芝生でのんびり楽しんでいただけます。



【10/31（土）KOBE D51 ハロウィン祭】開催時間：13:00 ～ 18:00 ※10:00 から芝生を設置しています。
ハロウィンに現れた芝生広場にて、全問クリアすると抽選会に参加できる「なぞときハロウィン」やワークショップ、D51 前での撮影会、鉄道イベントを開催！お菓子がもらえるスポットも登場します。
※なぞとき台紙はイベント会場にて配布（台紙の配布は 15:30 終了予定）

開催場所：D51 前道路の歩行者専用道路化（広場化）エリア
※いずれも荒天中止、小雨時は高架下で実施（実施についてはおでかけ KOBE の HP をご確認ください。）

